

- ・ 大腿骨レントゲン検査
- ・ 大腿骨 CT 検査:壊死領域の範囲及び海綿骨の状態及び量を評価するために受けていただきます。

## 8. この治療法の予想される効果と副作用

### 〈予想される効果〉

この治療法により、細胞移植を行わない血管柄付き骨移植術より早く、かつ広い範囲の骨の再生が起きることが予想されます。

### 〈予想される副作用〉

治療中に以下の副作用がおきる可能性があります。

- ① 血清を得るための採血の際の副作用
  - a) めまい、吐き気など  
安静にさせていただきます。  
めまい、吐き気が強いときには点滴をします。
- ② 骨髓液採取の際の副作用
  - a) 全身麻酔に関連する副作用
    - ・ 麻酔薬に対するアレルギー反応  
麻酔科の医師が迅速に処置します。血圧調節、ステロイド投薬等のアレルギー反応に対する処置を行います。
    - ・ 麻酔薬による術後の肝臓あるいは腎臓の機能障害  
通常は軽度で治療を必要としません。
  - b) 採取部位からの出血  
安静にさせていただきます。
  - c) 採取部位の疼痛  
消炎鎮痛薬を処方します
  - d) 採取部位の感染  
抗生物質の処方を行います。感染が治まらない場合には切開し洗浄することもあります。
- ③ 移植手術の際の副作用
  - a) 全身麻酔に関連する副作用